



このまちで、いつまでも
安心して暮らしていくために

具体的な支援策づくりへの取り組み
「高齢者実態把握調査」を実施



平成12年4月に、介護保険制度が発足して以来11年が経過しました。この間、当市の高齢者支援策も、介護保険制度の定着と市の独自施策の充実が図られています。

一方、高齢者人口も増加の一途をたどり、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくためには、更なる施策の展開に取り組んでいかなければなりません。

そのためには、高齢者の生活実態の把握と、市や地域に求めている支援策や課題が何か、また、どのような支援サービスを求めているのかを把握するとともに、本年度「第5期根室市高齢者保健福祉計画・根室市介護保険事業計画」の策定の参考とするため、「根室市高齢者実態把握調査」を実施しました。

この調査により、市内に住む在宅の高齢者の暮らしや心身の健康状態、その他の生活実態を把握し、高齢者皆さんが安心して暮らしていくための具体的な支援策づくりの基礎資料として活用していくものです。

「根室市高齢者実態把握調査」の概要

- 調査対象者 市内に住む在宅の65歳以上の高齢者（要支援・要介護認定者を除く）
- 調査基準日 平成23年3月1日（調査対象人数を把握するため設定したものです）
- 回答者数

区分	男	女	合計
65～69歳	546人 (12.1%)	765人 (17.0%)	1,311人 (29.1%)
70～74歳	533人 (11.8%)	750人 (16.6%)	1,283人 (28.4%)
75～79歳	454人 (10.1%)	548人 (12.1%)	1,002人 (22.2%)
80歳以上	339人 (7.5%)	576人 (12.8%)	915人 (20.3%)
合計	1,872人 (41.5%)	2,639人 (58.5%)	4,511人 (100.0%)

※「根室市高齢者実態把握調査報告書（完全版）」は、根室市ホームページに掲載しています。また、市役所介護福祉課地域包括支援センター（窓口16番）で、いつでも閲覧することができます。